

前期中間考査が終わりました

今年度、最初の定期試験、前期中間考査が終了しました。力を十分出し切れたでしょうか。試験が終わって、こうすれば良かったなと反省している人が多いのではないのでしょうか。試験は今までの学習成果を計るものですが、今後の学習にも生かすことができます。教科担当の先生から、採点された答案が返却されますが、

① 解けなかった問題をもう一度解き直してみましょう。

② 試験の問題を、ファイルに残しておきましょう。

学習は繰り返すことで定着するのです。また、試験問題こそが、その教科のミニマムエッセンスなのです。この教材を再利用しない手はありません。今までの学習内容を確認し、今日から、次の定期試験（前期期末考査）に向けて、軌道修正した学習を始めましょう。

総合的な学習の時間(前期2／4)について

総合的な学習の時間、前期の第2回目の学習が、6月13日（火）に行われます。1日休むと、4単位時間の欠課になります。今回も、休まないようにしましょう。担当の先生からの連絡は確認してありますか。時間・場所・準備する物など、指示を守って実りのある学習にしましょう。

	テーマ	活動内容	活動場所
Ⅰ部	藤沢周平文学に親しむ	・山形県縁の文学者を知る ・作品を鑑賞する ・感想文を書く	音楽室
	航空力学研究所	・ペーパーグライダーづくり ・ゴムカタパルトづくり	物理室
	食育講座・ フードコーディネート	・食事のマナー ・フラワーアレンジメント	調理室
	進路学習	・作文講座 ・志望校調べ ・講演（ハローワーク職員）	情報室2 64教室
Ⅱ部	山形の歴史と文化	・県立博物館見学 ・霞城公園見学 ・レポートまとめ	県立博物館 霞城公園 情報室1
	ライフスキル	・自己理解、他者理解② ・コミュニケーション①	64教室
	災害が起こった時に	・救急法の基礎	視聴覚室
	進路学習	・作文講座 ・講演（ハローワーク職員）	73教室 情報室2
Ⅲ部	課題学習（郷土を知る）	・映画鑑賞 ・レポート作成	情報室1
	進路学習	・講演（ハローワーク職員）	情報室2

祝 創立20周年

明日、霞城学園は、平成9年にⅢ部・Ⅳ部が開校して20歳の誕生日を迎えます。開校した当時は、山形東高等学校通信制課程の校舎を使用していましたが、平成13年1月に霞城セントラルビルに移転しました。そして、平成13年4月に、Ⅰ・Ⅱ部が開設され現在の姿になりました。

本校が開校されるまで、山形県には

単独（全日制の併設ではない）の定時制・通信制高校はなかったのです。

多部制の単位制高校もなかったのです。

本校の開校により、多様な学びが可能となり、地域に貢献して20年になります。

素晴らしいことですね。みんなでお祝いしましょう。

さて、20周年のお祝いに何をしたらいいのでしょうか。本を読んで、自分の人生を考えることでもいいのでは……。みなさんに読んでもらいたい図書館の本をいくつか紹介します。

「国際結婚とストレス」 桑山 紀彦 著 …… 記念公演 講師

山形県という地域の特異性ゆえに起きている出来事を羅列するのではなく、広く「日本に住む新しい“移民”とどう共存するか」「“移民”にとって日本社会に於けるストレスとは何なのか」を述べています。

「83歳の女子高校生球児」 上中別府 チエ 著

“現役女子高生”上中別府チエさんによる元気になる知恵は学ぶこと、生きること、仲間のすばらしさを知るヒントがいっぱい。

「二十歳の君へ」 立花 隆 著

人生の選択に、社会の不条理に……。ちゃんと悩んでいますか？「もちろん！」と胸を張って答えられるあなたへ。そしてちょっと答えるのをためらってしまったあなたへ。二十歳のための一冊。

本校の図書館は奥が深いですね。是非、図書館に行ってみてください。

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト（スマホで閲覧可能）も対応しています。アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。